

2007年3月期 中間決算説明会

2006年11月9日



古河スカイ株式会社

＜本日の内容＞

1. 2007年3月期（2006年度）中間決算概要
2. 2007年3月期（2006年度）通期業績見通し
3. 設備投資の動向
4. 海外拠点の状況

1. 2006年度 中間決算概要

2006年度 中間決算のポイント

■ 売上数量の回復基調を維持

- ・天候不順により飲料用アルミ缶の需要は低迷
- ・IT関連分野、自動車・輸送向け需要が好調に推移

■ 営業利益は前年同期並みの水準

- ・原油・原材料価格高騰による影響が拡大

2006年度 中間業績概要

<連結>

(単位:億円)

	05中間 (A)	06中間 (B)	増 減 (B) - (A)	前年同期比(%) (B) / (A)
売上高	1,040	1,175	135	113.0
営業利益	75	76	1	102.0
経常利益	67	70	3	103.5
当期純利益	30	42	12	140.7

<単体> (ご参考)

(単位:億円)

	05中間 (A)	06中間 (B)	増 減 (B) - (A)	前年同期比(%) (B) / (A)
売上高	892	1,046	154	117.2
営業利益	68	69	1	101.3
経常利益	63	64	1	102.6
当期純利益	30	32	2	109.5

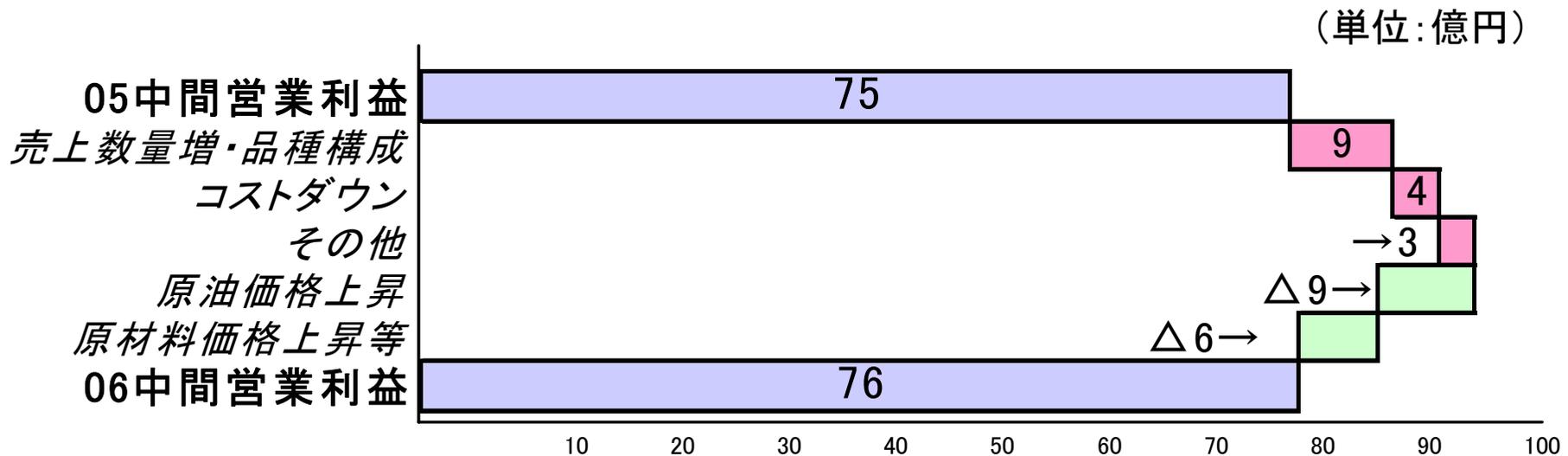
連結営業利益増減要因分析(05中間→06中間)

主な増益要因

- ・売上数量増・品種構成 9億円
- ・コストダウン 4億円
- ・その他 3億円

主な減益要因

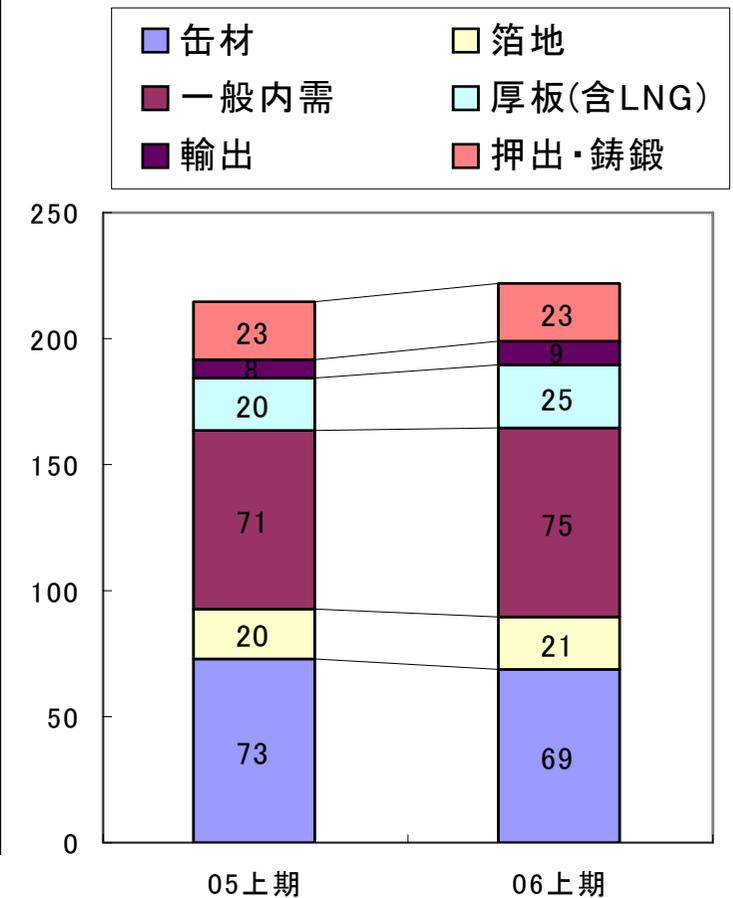
- ・原油価格上昇 9億円
- ・原材料価格上昇等 6億円



品種別売上数量(単体)

(単位:千トン)

品種		05上期	06上期	前年同期比
板	缶材	73	69	-5%
	箔地	20	21	5%
	一般内需	71	75	6%
	厚板(含LNG)	20	25	25%
	輸出	8	9	13%
計		192	199	4%
押出・鋳鍛 計		23	23	0%
総合計		215	222	3%



中間貸借対照表(連結)

(単位:億円)

	06/3末	06/9末	増減
流動資産	1,146	1,213	67
現金・預金	63	62	△1
受取手形・ 売掛金	611	613	2
棚卸資産・ 前渡金	373	423	50
その他	99	113	14
固定資産	1,180	1,197	17
有形・無形固定資産	1,067	1,083	16
投資その他の資産	113	114	1
資産合計	2,326	2,410	84

	06/3末	06/9末	増減
流動負債	1,081	1,133	52
支払手形・買掛金・ 未払金・未払費用	608	687	79
短期借入金・一年以内返 済長期借入金・社債	422	409	△13
未払税金・その他	51	37	△14
固定負債	591	593	2
長期借入金・社債	424	426	2
その他	167	167	0
自己資本 ※	626	659	33
少数株主持分	27	25	△2
負債・資本合計	2,326	2,410	84

※自己資本＝純資産－少数株主持分

2. 2006年度 通期業績見通し

2006年度 通期業績見通し

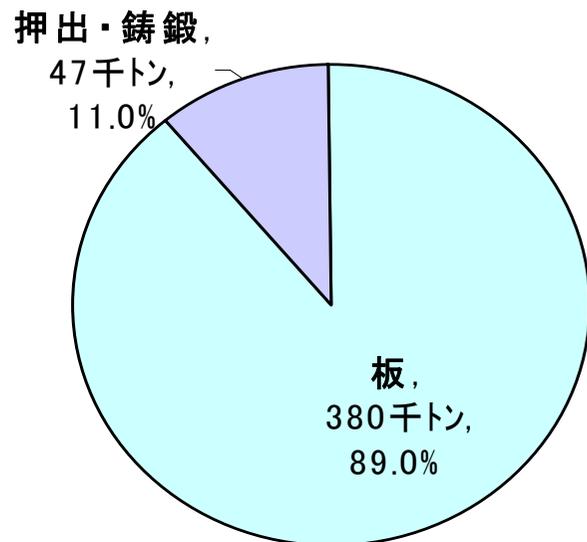
<連結>

(単位:億円)

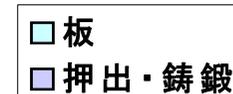
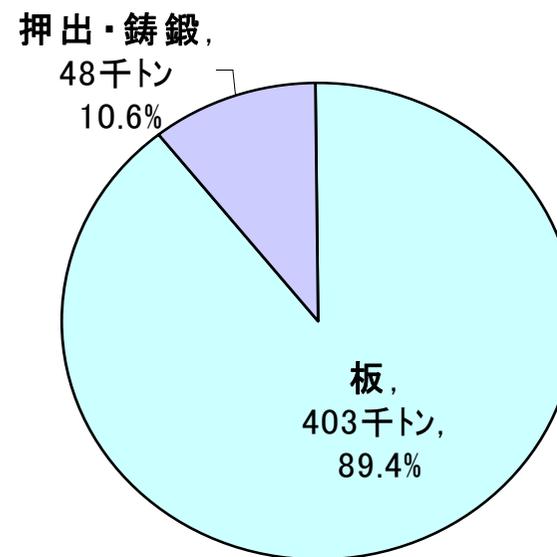
	05 (A)	06予想 (B)	増減 (B) - (A)	対比(%) (B) / (A)
売上高	2,094	2,400	306	114.6
営業利益	144	177	33	123.6
経常利益	128	165	37	128.9
当期純利益	67	92	25	137.8

品種別売上数量見通し(単体)

05年通期



06年通期予想



(単位:千トン)

	05			06		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
板	192	188	380	199	204	403
押出・鋳鍛	23	24	47	23	25	48
計	215	212	427	222	229	451

3. 設備投資の動向

主な設備投資 ①溶解鑄造設備増設

- ◆福井工場鑄造設備の増強を
予定通り実施。
07年夏頃完成予定。
これにより、
スラブ製造能力不足が解消。



▲鑄造建屋

主な設備投資 ②技術研究所集約

- ◆研究開発力強化のため、
07年末まで技術研究所を深谷工場に集約予定。
研究棟・実験棟を3棟新設、旧研究棟を改装。



▲研究棟完成予想図

4. 海外拠点の状況

海外拠点の状況

「3拠点同時立上げが計画通り進行中」

① インドネシア～ PT.Furukawa Indal Aluminum～（押出）

【上期トピックス】

- ◆ 06年6月、新規押出プレス導入完了
⇒ 7月より量産開始
自動車熱交換器用多穴チューブ
月産300トンから450トン体制へ
- ◆ 顧客認定は順調、
今後の需要回復に対する
即応体制は整う



海外拠点の状況

②中国～古河(天津)精密鋁業有限公司～(押出)

【上期トピックス】

- ◆ 06年7月 工場建屋完成
- ◆ 設備搬入中～プレスは据付終了
11月後半より試運転開始
- ◆ 製造スタッフをFIA(インドネシア)で
研修、育成中
- ◆ 07年初より量産開始



海外拠点の状況

③ ベトナム ～Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc.～

(鋳物コンプレッサーホイール)

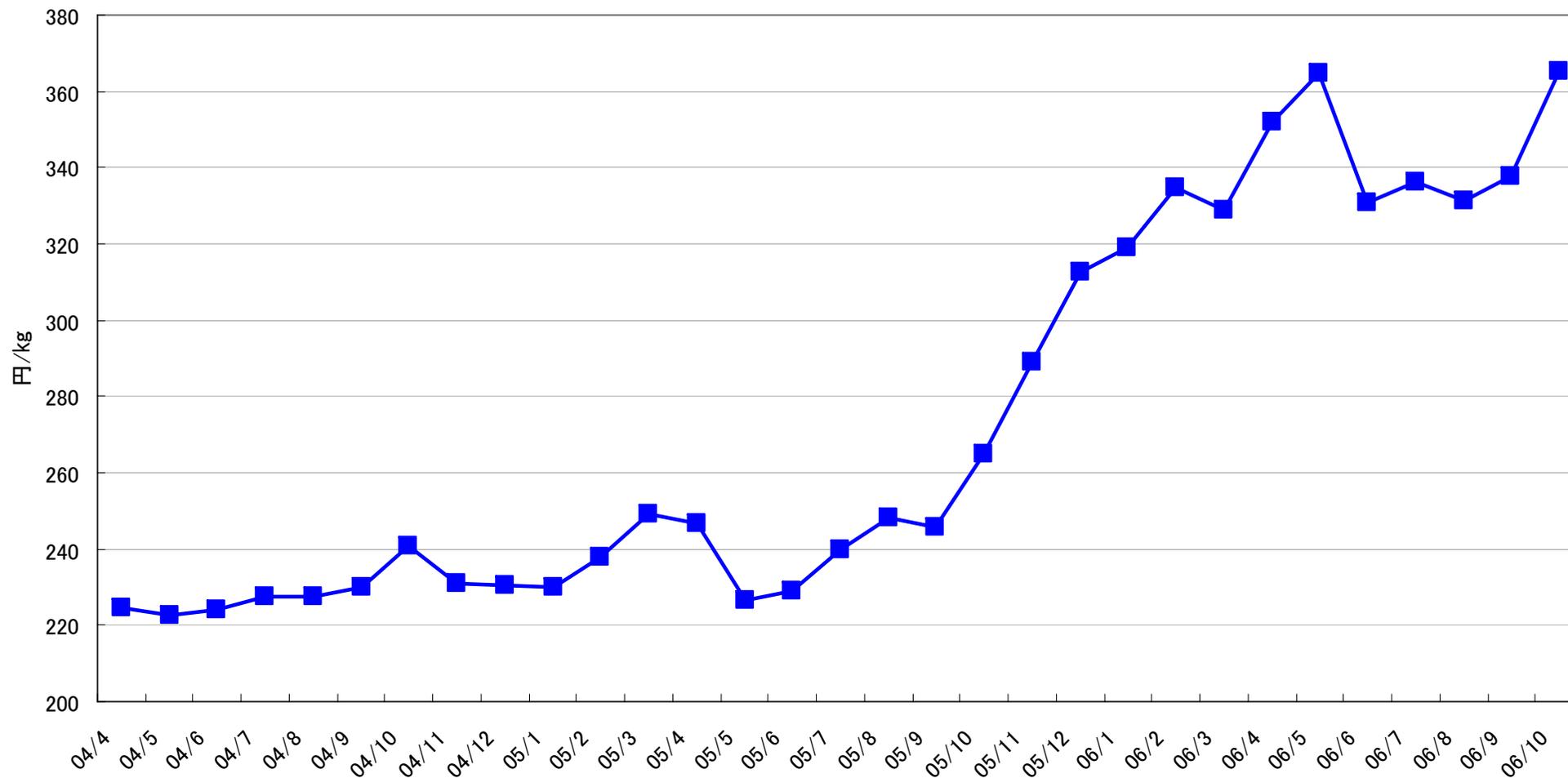
【上期トピックス】

- ◆ ターボチャージャー部品を製造
ディーゼルエンジン用ターボ
需要は、欧州中心に急速に拡大
- ◆ 新工場建屋は11月完成
12月から業務を開始
- ◆ 設備搬入も進行中:
年始早々に認定活動開始
- ◆ 07年3月から商業量産開始予定
- ◆ 新工場への現有設備の移設も07年中に完了を予定
⇒ 月産75万個生産体制構築



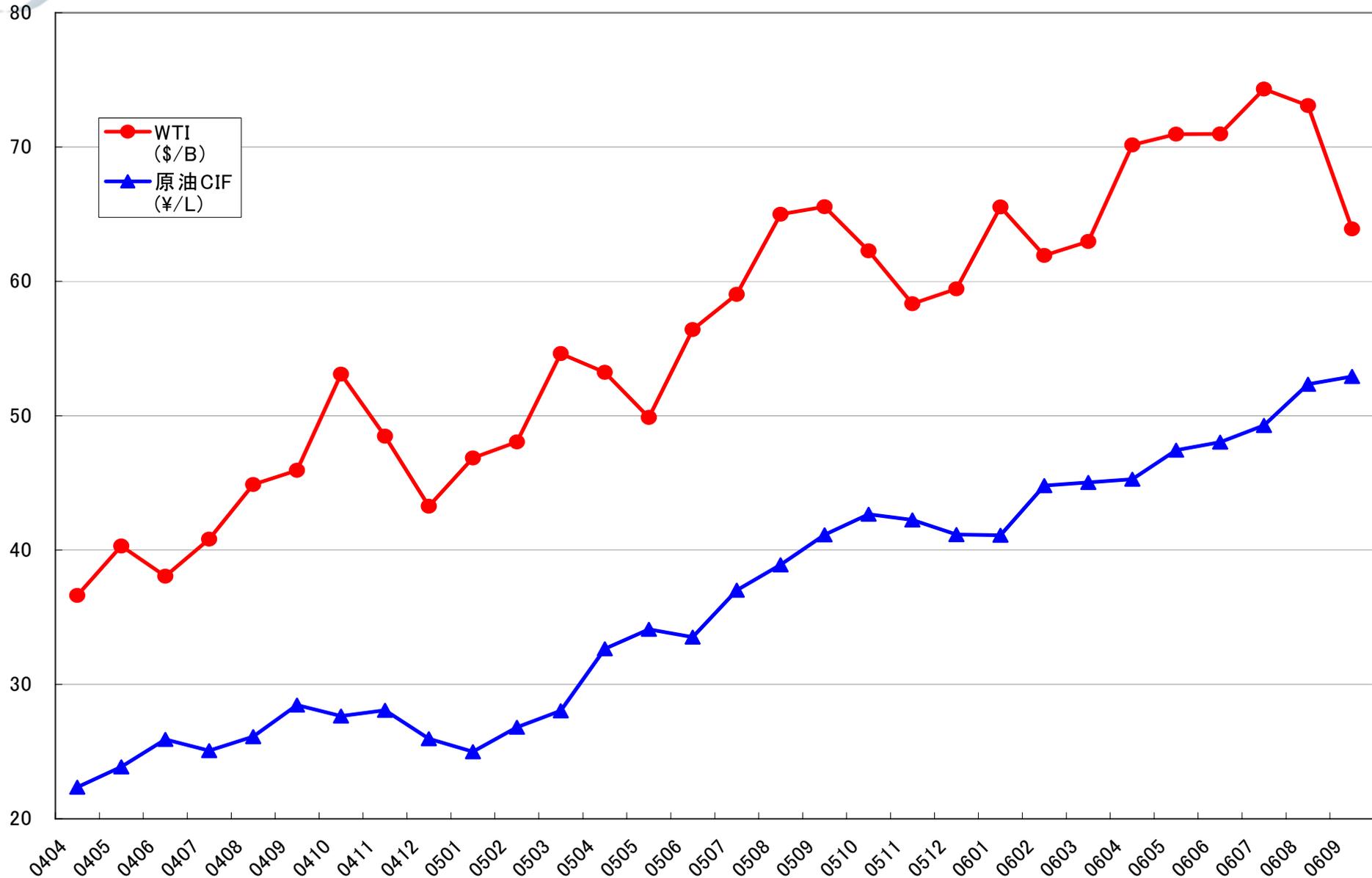
◆ 参考資料

参考資料①アルミ地金価格推移



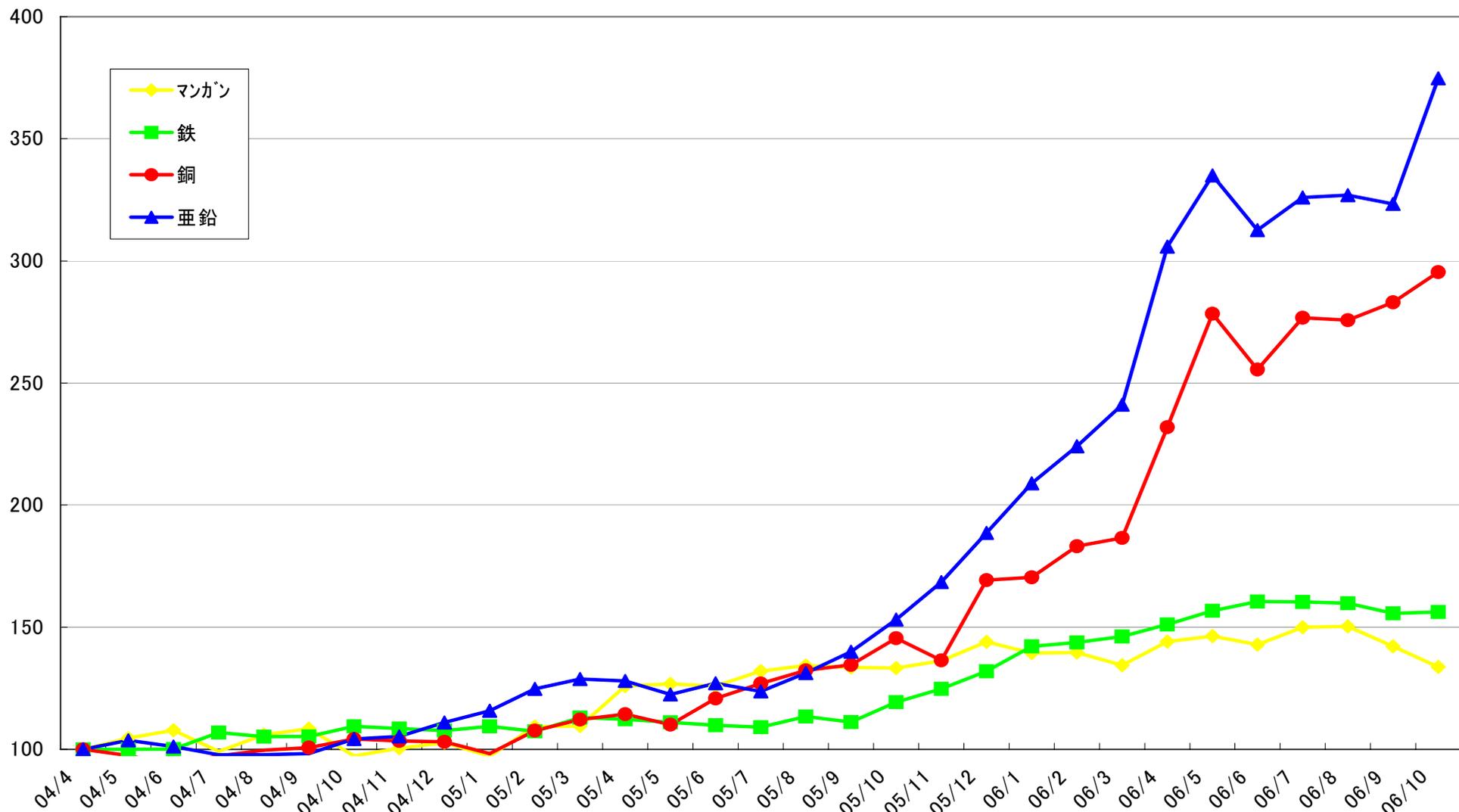
資料: 日本経済新聞 アルミ地金価格月間平均

参考資料②原油価格推移



参考資料③原材料価格推移

(指数; 2004/4月 = 100)



■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があり、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3668 FAX:03-5295-3760

<http://www.furukawa-sky.co.jp>
(東証1部 コード番号:5741)